

第 189 回 全経簿記能力検定試験 1 級 原価計算・工業簿記 解説

第 1 問

1. 原価計算基準 第一章 三 (四)
2. 原価計算基準 第二章 七 実際原価の計算手続
3. 原価計算基準 第二章 二九 連産品の計算

第 2 問

1. 月末材料は 150 個 先入先出法より、月末棚卸高は $150 \text{ 個} \times @ \text{¥}3,140 = \text{¥}471,000$

月初材料 450 個	当月消費量 2,500 個
当月購入量 2,200 個	月末材料 150 個

消費額は月初棚卸高 + 当月購入高 - 月末棚卸高より

$$(450 \text{ 個} \times @ \text{¥}3,100) + (2,200 \text{ 個} \times @ \text{¥}3,140) - \text{¥}471,000 = \text{¥}7,832,000$$

2. 間接工の賃金なので製造間接費である

当月総支給額	¥2,640,000	前月末未払額	¥522,000
当月末未払額	¥541,000	当月消費額	

$$\text{当月実際賃金消費額} = \text{¥}2,640,000 + \text{¥}541,000 - \text{¥}522,000 = \text{¥}2,659,000$$

3. 第 1 製造部門費から作業くず評価額を控除する。
4. 第 1 工程完成品を第 2 工程に振り替える。

$$1,800 \text{ 個} \times @ \text{¥}455 = \text{¥}819,000$$

5. 売価は原価の 32% 増しであるから、売価は $\text{¥}2,500 \times 1.32 = @ \text{¥}3,300$

$$1,200 \text{ 個の } 10\% \text{ (120 個) が返品されたので、} @ \text{¥}3,300 \times 120 \text{ 個} = \text{¥}396,000$$

(借) 売 上	396,000	(貸) 売 掛 金	396,000
---------	---------	-----------	---------

売上原価 $\text{¥}2,500 \times 120 \text{ 個} = \text{¥}300,000$ も控除する

(借) 製 品	300,000	(貸) 売 上 原 価	300,000
---------	---------	-------------	---------

6. 工場と本社の仕訳は以下のとおりである。工場側の仕訳が解答となる。

(本社)	(借) 売 上	598,000	(貸) 売 掛 金	598,000
	工 場	480,000	売 上 原 価	480,000
(工場)	(借) 製 品	480,000	(貸) 本 社	480,000

第3問

当月の販売数量は1,500個なので、売上高は@ ¥6,800 × 1,500 個 = ¥10,200,000

当月1,700個製造し、製造原価は変動費（直接材料費 + 変動加工費）が ¥6,256,000

このうち1,500個が販売されたので変動売上原価は

$$¥6,256,000 \times (1,500 \text{ 個} / 1,700 \text{ 個}) = ¥5,520,000$$

よって変動製造マージンは

$$\text{売上高} - \text{変動売上原価} = ¥10,200,000 - ¥5,520,000 = ¥4,680,000$$

また、変動販売費は@ ¥320 × 1,500 個 = ¥480,000 なので限界利益は

$$\text{製造マージン} - \text{変動販売費} = ¥4,680,000 - ¥480,000 = ¥4,200,000$$

固定費は、

$$\text{固定加工費} + \text{固定販売費} + \text{一般管理費} = ¥2,850,000 + ¥212,000 + ¥522,000 = ¥3,584,000$$

以上より営業利益は

$$\text{限界利益} - \text{固定費} = ¥4,200,000 - ¥3,584,000 = ¥616,000$$

製品1個当たりの変動売上原価は ¥5,520,000 / 1,500 個 = @ ¥3,680

また、変動販売費が@ ¥320 なので製品1個当たりの変動費は@ ¥3,680 + @ ¥320 = @ ¥4,000

固定費は ¥3,584,000 である。

販売数量を x とすると、売上高は $6,800x$ 、営業費用は $4,000x + 3,584,000$ と表すことができる。

損益分岐点では以下の式が成り立つ。

$$6,800x = 4,000x + 3,584,000$$

これを x について解くと

$$x = 1,280$$

第4問

1. 月初製品繰越高 ¥2,434,000 → 製品勘定の前月繰越
2. 月初仕掛品原価 ¥648,200 → 仕掛品勘定の前月繰越および指図書別原価計算表の指図書 #11
3. 材料費
 - 直接材料費 → 指図書別原価計算表「直接材料費」
 - 間接材料費 → 部門別振替表「間接材料費」（部門共通費は6へ）
4. 労務費
 - 直接労務費 → 指図書別原価計算表「直接労務費」
 - 間接労務費 → 部門別振替表「間接労務費」（部門共通費は6へ）
5. 経費
 - 直接経費 → 指図書別原価計算表「直接経費」
 - 間接経費 → 部門別振替表「間接経費」（部門共通費は6へ）

6. 部門共通費の配賦

部門共通費は $\text{¥}314,400 + \text{¥}334,600 + \text{¥}289,000 = \text{¥}938,000$

これを問題指定の割合で配賦すると以下のとおり

	第1製造部門	第2製造部門	X補助部門	Y補助部門
部門共通費	¥422,100	¥281,400	¥140,700	¥93,800

→ 部門費振替表「部門共通費配賦額」

7. 作業くず

→ 指図書別原価計算表「作業くず評価額」、部門費振替表「作業くず評価額」

8. 製造部門への補助部門費の配賦

部門費振替表の差引計より、X補助部門費は $\text{¥}320,000$ 、Y補助部門費は $\text{¥}239,000$

これを問題指定の割合で配賦すると以下のとおり

	第1製造部門	第2製造部門
X補助部門費	¥192,000	¥128,000
Y補助部門費	¥119,500	¥119,500

→ 部門費振替表「X補助部門費」「Y補助部門費」

(借) 第1製造部門費	192,000	(貸) X補助部門費	320,000
第2製造部門費	128,000		
(借) 第1製造部門費	119,500	(貸) Y補助部門費	239,000
第2製造部門費	119,500		

これにより、部門費振替表の「実際発生額」が計算される。

9. 製造指図書への製造部門費の予定配賦額

配賦率は 第1製造部門 $\text{¥}22,080,000 / 24,000 \text{時間} = @ \text{¥}920$

第2製造部門 $\text{¥}17,640,000 / 18,000 \text{時間} = @ \text{¥}980$

これを問題指定の時間で配賦すると以下のとおり

	指図書#11	指図書#12	指図書#13	指図書#14	指図書#12-R1
第1製造部門費	¥533,600	¥377,200	¥303,600	¥276,000	¥73,600
第2製造部門費	¥460,600	¥382,200	¥313,600	¥245,000	¥68,600

→ 指図書別原価計算表「第1製造部門費」「第2製造部門費」

以上より、第1製造部門の予定配賦額は $\text{¥}1,564,000$

第2製造部門の予定配賦額は $\text{¥}1,470,000$

これと実際発生額との差異は

第1製造部門 $\cdots \text{¥}1,564,000 - \text{¥}1,600,800 = (\Delta) \text{¥}36,800$ (不利差異)

第2製造部門 $\cdots \text{¥}1,470,000 - \text{¥}1,426,100 = \text{¥}43,900$ (有利差異)

(借) 部門別差異	36,800	(貸) 第1製造部門費	36,800
(借) 第2製造部門費	43,900	(貸) 部門費差異	43,900

10. 製造指図書#11、#12、#13 の完成

問題文より、月末には補修指図書#12-R1 が完成し、製造指図書#12 に賦課する。

(借) 仕掛品	309,400	(貸) 仕掛品	309,400
---------	---------	---------	---------

→ 指図書別原価計算表「補修費」

作業くず評価額を控除し、差引計を計算する。

製造指図書#11、#12、#13 が完成したので、指図書別原価計算表より、

$¥2,257,600 + ¥1,877,400 + ¥951,400 = ¥5,086,400$ を仕掛品から製品に振り替える。

(借) 製品	5,086,400	(貸) 仕掛品	5,086,400
--------	-----------	---------	-----------

11. 製品の引き渡し

1 より、指図書#10 の製品原価は $¥2,434,000$

また、指図書別原価計算表より指図書#11、#12 の製品原価は

$¥2,257,600 + ¥1,877,400 = ¥4,135,000$

$¥2,434,000 + ¥4,135,000 = ¥6,569,000$ を製品から売上原価に振り替える。

(借) 売上原価	6,569,000	(貸) 製品	6,569,000
----------	-----------	--------	-----------